

地域の創意工夫を活かした 雇用対策事業の推進について

【担当省庁】厚生労働省

京都府の経済状況は、企業収益の悪化等から製造業を中心に弱めの動きがみられるとともに、有効求人倍率の下落傾向など府内の雇用情勢は依然として厳しい情勢が続き、このまま放置すれば大幅な悪化が懸念される中で、地域の雇用確保や若年者対策等の雇用対策の充実は、喫緊の課題となっています。

つきましては、京都府が公労使の連携のもとで、創意工夫を活かしながら取り組んできた「京都ジョブパーク事業」をはじめとした取組や産業政策と一体となった雇用創出事業が持続的・発展的に実施できるよう、以下のとおり要望いたします。

地域の創意工夫を活かせるプロジェクト事業の推進等

- 京都府においては、「京都ものづくり産業雇用創出プロジェクト（仮称）」として、京都の強みである「ものづくり産業」（環境・エネルギー産業、健康産業、試作産業、ICT産業、映画・コンテンツ産業、新文化産業（伝統産業））における、**幅広い業種**を対象に、産業政策と一体となった雇用創出プロジェクトを推進することとしている。

国において、「戦略産業雇用創造プロジェクト（仮称）（新規）」を事業化していただくとともに、その要件については、これらの業種を包括して指定できるようにすることや、雇用創出効果を高めるために、「京都ジョブパーク」での総合的な就業支援対策を対象とするなど、**地域の創意・工夫を活かした事業が推進できる制度**とされるとともに、「京都ものづくり産業雇用創出プロジェクト（仮称）」を採択していただきたい。

<厚生労働省の平成25年度予算概算要求>

◎戦略産業雇用創造プロジェクト（仮称）（新規） 40億円

都道府県による産業政策と一体となった地域の自主的な雇用創出の取組を支援する。（コンペ方式、全国5都道府県、上限10億円、補助率8割）

京都府の現状・課題等

◆ 全国及び京都府の有効求人倍率の推移（平成24年度）

	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全 国	0.82	0.83	0.83	0.82	0.81	0.80
京都府	0.80	0.83	0.83	0.81	0.80	0.80

厚生労働省「戦略産業雇用創造プロジェクト」(仮称) 提案(素案)

京都ものづくり産業雇用創出プロジェクト(仮称)

1 わらい

京都の強みであるものづくり産業の高度な技術力・文化力、大学等の知的資源・人的資源、全国モデルの「京都ジョブパーク」における総合就業支援機能等を活かし、産業政策と雇用政策が一体となって、①新たな事業分野への進出や新技術・新製品の開発、販路開拓、創業等、企業のイノベーションの創出に向けた取組を支援するとともに、②企業のイノベーションの担い手となる産業人材の確保・育成、企業との人材マッチングを支援することにより、安定的な雇用の場(正規雇用)を戦略的に創出・拡大

[ターゲット]

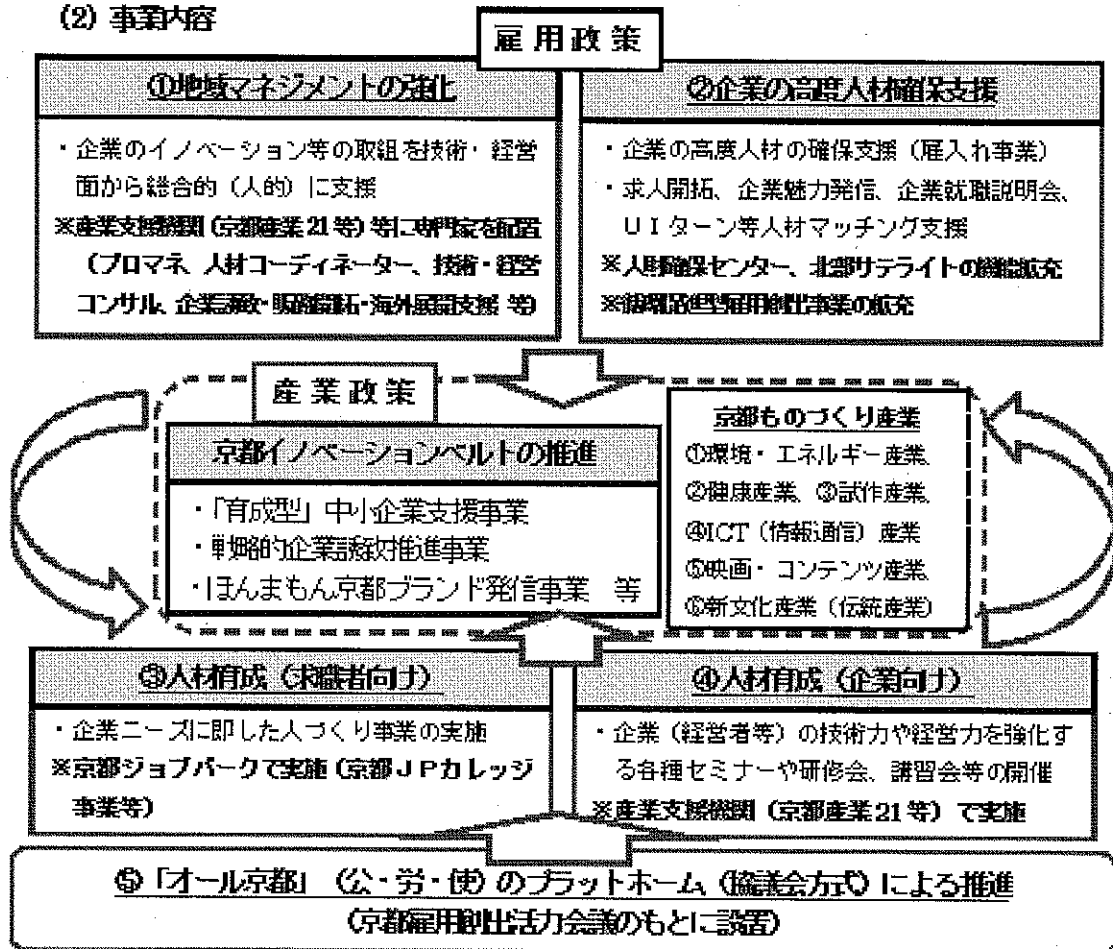
- ① 京都力を結集した次代を担うものづくり産業の創業・新事業展開を支援
- ② 京都の強みを活かした戦略的企業誘致
- ③ 京都ならではの新文化産業(和装・伝統産業)の活性化

2 内容

(1) 事業費 1府県上限10億円(補助金8億円(補助率8割)+国庫行2億円)
×3年(平成25~27年度)

※国全体予算40億円(5府県分想定)、5月公募・6月採択・8月事業開始

(2) 事業内容



【京都府の担当部局】 商工労働観光部 総合就業支援室 075-682-8912
ものづくり振興課 075-414-5103
労政・人材育成課 075-414-5085
緊急経済・雇用対策課 075-414-4872